

【問い合わせ先】
海洋情報部監理課
監理課長 長瀬 裕介
電話 052-661-1611 (内線 2510)



令和2年7月30日
第四管区海上保安本部

「伊能図と海図で見る名古屋港の変遷」 企画展示を開催します！

第四管区海上保安本部では、9月12日に水路記念日を迎えることから、名古屋市港図書館の協力のもと、「伊能図と海図で見る名古屋港の変遷」と題して企画展示を行います。

1 日時

令和2年8月22日(土)～9月17日(木)
火～土曜(祝日を除く) 午前9時30分～午後7時
日曜・祝日 午前9時30分～午後5時

2 場所

名古屋市港図書館
住所 名古屋市港区港楽1丁目14番16号
地下鉄名港線「港区役所」下車1番出口すぐ

3 内容

9月12日は、明治4年9月12日(旧暦7月28日)に、海上保安庁海洋情報部の前身である兵部省海軍部水路局が設置され、我が国の海図作製が開始されたことに由来する「水路記念日」です(別添資料参照)。

名古屋市港図書館の協力を得て、江戸時代後期から現在までの名古屋港の変遷が分かる伊能図及び海図を展示します。中でも、国会図書館で所有されている「海図126 勢志尾参沿海(明治14年刊行)」は伊勢湾全体を描いた海図としては最も古く、今回初めての公開となります。

展示海図等

- ・伊能大図(米国)彩色図
三河・刈谷・岡崎・挙母・尾張・名護屋(国土地理院蔵)
- ・海図126 勢志尾参沿海(明治14年刊行)(国立国会図書館蔵)
- ・海図1055 名古屋港(大正4年刊行)
- ・海図1055 名古屋港・内港(昭和17年刊行)
- ・海図W1055A 名古屋港北部(平成28年刊行)

4 取材の申し込み

現地取材をご希望される社は、取材予定日の前日までに、上記問い合わせ先までご連絡ください。

5 その他

名古屋市図書館が実施している、新型コロナウイルス感染拡大防止対策に従った開催を致します。来場の際には、同対策にご協力ください。

伊能大図（米国）彩色図

三河・刈谷・岡崎・挙母・尾張・名護屋（国土地理院蔵）の一部



海図第126号 勢志尾参沿海（明治14年刊行）（国立国会図書館蔵）の一部



水路記念日について

「水路記念日」とは、海上保安庁海洋情報部の前身である兵部省海軍部水路局創立の日です。

明治2年(1869年)8月に兵部省が設置され、明治3年3月には兵部省の下に海軍掛と陸軍掛の分課が設けられました。

明治4年(1871年)7月28日に兵部省が海軍部と陸軍部に分けられ、海軍部に第1秘史局、第2軍務局、第3造船局、第4水路局(水路局)、第5会計局の5つの局が置かれました。ここに、当時わが国の緊急課題であった日本沿岸の安全を図るための海図作りを使命とした水路局が初めて誕生しました。

明治初期、勝海舟らとともに長崎海軍伝習所においてオランダ式の航海・測量術を学んだ津藩(現三重県)出身の初代水路局長 柳樽悦(やなぎならよし)(右写真)は「水路事業の一切は海員的精神に依り、徹頭徹尾外国人を雇用せず自力を以て、外国の學術技芸を選択利用し、改良進歩を期すべし」を大方針として、日本人のみでの測量を精力的に推進しました。



柳樽悦(やなぎならよし、1832-1891)
津藩士、初代水路局長、水路部長、貴族院議員、大日本水産名誉会員。



「伊勢之國磯(さざら)港之図」

わが国における近代的な海図の第1号は、明治5年9月(旧暦8月)に完成した「陸中国釜石港之図」です。

愛知県・三重県に関する最も古いものとしては、「伊勢之國磯(さざら)港之図」(1873年(明治6年)9月刊行(左図))があり、これは三重県五ヶ所湾の海図で1862年からの幕府海軍の測量によるもので、のちの初代水路部長柳樽悦(当時は津藩士)らにより行われ海図が作成されました。

昭和26年(1951年)に海上保安庁が水路局の誕生した7月28日を水路部の創立の日として制定しましたが、昭和46年(1971年)の水路部創立100周年を期して、明治初期に用いられていた太陰暦(旧暦)の7月28日を現在使用されている太陽暦に換算した9月12日を水路部の創立の日として「水路記念日」を制定しました。

海上保安庁海洋情報部 ～誕生から現在までの変遷～

海上保安庁海洋情報部は、兵部省海軍部水路局として設置されて以降、所属省庁が移り変わってきました。移り変わりの中で、観象台業務の移管が行われ、天文関係は文部省へ、気象関係は内務省へ移管されています。

明治	4年	(1871年)	9月12日 (旧暦7月28日)	兵部省海軍部水路局
"	5年	(1872年)	4月5日 (旧暦2月28日)	海軍省水路局
"	5年	(1872年)	11月13日 (旧暦10月13日)	海軍省水路寮
"	9年	(1876年)	9月1日	海軍省水路局
"	19年	(1886年)	1月29日	海軍水路部 (海軍省外局となる)
"	21年	(1888年)	6月27日	水路部 (海軍冠称廃止)
昭和	20年	(1945年)	11月29日	水路部 (運輸省外局となる)
"	23年	(1948年)	5月1日	海上保安庁水路局 (海上保安庁の内部機関となる)
"	24年	(1949年)	6月1日	海上保安庁水路部
平成	14年	(2002年)	4月1日	海上保安庁海洋情報部 (現在に至る)

第四管区海上保安本部
海洋情報部

伊能図と海図で見える 名古屋港の変遷

8月22日～9月17日

名古屋市港図書館2階

名古屋市港区港楽1丁目14番16号

展示海図等

- ・伊能大図（米国）彩色図
三河・刈谷・岡崎・挙母・尾張・名護屋（国土地理院蔵）
- ・海図126 勢志尾参沿海（明治14年刊行）
（国立国会図書館蔵）
- ・海図1055 名古屋港（大正4年刊行）
- ・海図1055 名古屋港・内港（昭和17年刊行）
- ・海図W1055A 名古屋港北部（平成28年刊行）